



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

#### 患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

#### 患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に  
医療機能の充実を図ります

#### 完結型医療

地域の医療機関との連携を行い  
安心できる医療の展開を行います

#### 社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療  
ボランティアの活動を行います

#### 医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の  
育成を行います

## 平成30年度 JCHO 人吉医療センター「緩和ケア研修会」



1月19日(土)に木村正美 院長を主催責任者、倉本正文 院長補佐・統括外科部長を企画責任者としてJCHO 人吉医療センター「緩和ケア研修会」が開催されました。講師として八代北部地域医療センター院長 吉田光宏 先生、熊本赤十字病院腫瘍内科 采田志麻 先生、熊本中央病院外科 山本謙一郎 先生、とやまクリニック西村卓祐 先生、熊本大学医学部附属病院神経精神科 遊亀誠二 先生にお越しいただき、とても充実した内容の研修会となりました。この研修会はがん対策基本法の「がん患者の状況に応じて緩和ケアが診断の時から適切に提供されるようにする」、「医療従事者に対するがん患者の療養生活の質の維持向上に関する研修の機会を確保する」との規定に基づき開催されるもので、地域がん診療連携拠点病院の要件となります。

今回から e-learning と集合研修の2段階となり、19日の集合研修は事前に e-learning を修了した医師8名、看護師・その他医療従事者11名の合わせて19名が参加されました。これまでとは違い、医師以外の医療従事者も正式に受講対象となり、看護師や調剤薬局の薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士などの参加が多かったようです。この集合研修では e-learning で得た緩和ケアの基礎知識

をもとに、具体的な麻薬処方やケアの方法、地域で患者を支える体制などについてのグループワークや告知場面などを想定したロールプレイが行われ、参加者からも「疼痛コントロールの実践が学べた」、「多職種で事例検討ができ、自然にチームワーク、地域連携が学べた」との好評をいただきました。

この研修会は、がんに関わる医師が100%受講すべきものであり、「がん性疼痛緩和 management 指導料」の施設基準に該当し、「がん治療認定医」申請の必須資格となります。また、緩和ケアチームの対象ががん以外にも広がっており、受講の必要性は高くなっています。多職種がチーム医療を一緒に学べる貴重な研修会ですので、是非、来年の集合研修受講を目指して、皆さんも e-learning 受講を開始されることをお勧めします。受講方法は下記の通りです。ご不明な点があればいつでもお問い合わせください。

#### 【e-learning 受講方法】

<https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html>  
からアクセスして申し込みとなります。

#### 【問い合わせ先】

医療福祉連携室・がん相談支援センター 南 秀明 (PHS 774)

## \* 在宅医療の後方支援を行っています

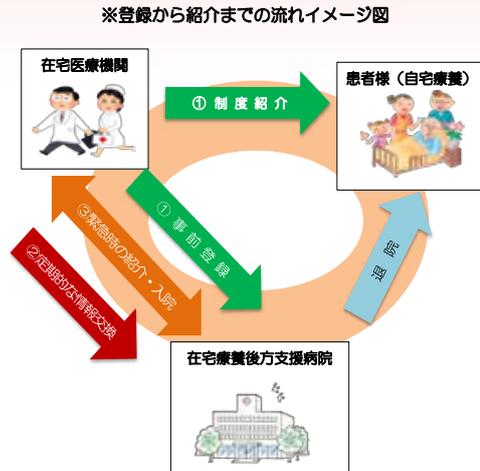
当院は、在宅療養されている患者さんやご家族が安心して自宅でご過ごせるように、緊急時、在宅医療を行っている医療機関（以下、在宅医療機関）の患者さんの後方支援を24時間体制で行っています。

在宅医療を支えていくために、当院は、平成29年2月1日に「在宅療養後方支援病院」として認定をうけました。

在宅医療機関と定期的に情報交換を行い、患者さんの情報を把握し、緊急時における迅速な対応及び入院受け入れの後方支援を行います。やむを得ず、当院での入院が困難な場合には、適切な医療機関を調整します。

### 【在宅療養後方支援の流れ】

- 事前登録（決まった在宅管理料を算定している患者さん対象）  
「入院希望申出書（様式1）」、「診療情報提供書（初回）（様式2）」を提出し、事前に患者情報を登録。
- 定期的（3ヶ月毎）情報交換  
当院から在宅医療機関に決まった書類をFAX、返送して頂きます。
- 緊急時の紹介の流れ  
状態悪化・急変時紹介。「在宅療養の登録患者」とお申し出下さい。受診時に「在宅療養患者カード」を提示して下さい。



※登録についてのお問い合わせ先※  
人吉医療センター 医療福祉連携室  
TEL0966-22-2191（内線240）

## 脳神経外科 最近の Topics

脳神経外科医員の井上です。当科における最近の Topics についてご紹介させていただきます。

### ■新しい急性期脳梗塞治療について

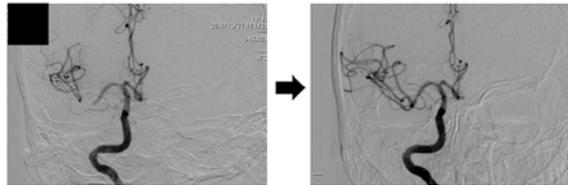
先日、当院で4例目となる経皮経管的脳血栓回収療法（以下、本療法）を行いました。本療法は、主幹動脈閉塞による急性期脳梗塞に対して有効性が示されている比較的新しい治療法です。X線透視下に鼠径部の動脈から頭蓋内の動脈の閉塞部までカテーテルを進め、詰まった血栓をステントで絡めとることで、血流再開を狙います。昨年には、脳梗塞が完成していない患者さんに限定はされますが、発症から24時間以内の本療法の有効性が示され、大きな話題を呼びました。

当院では放射線科部長 米永医師が脳血管内治療専門医であり、放射線科と共同で本療法を行う体制をとっています。昨年2月に私の前任の今岡医師が当院で初となる本療法を行い、4月に私が着任して以降、さらに3例行いました。適応となる患者さんには、積極的に本療法を行える環境を整えるため、各部署のスタッフの方々に多大なるお力添えを頂いています。

### ■新しい脳神経外科部長について

昨年10月に、済生会熊本病院より牟田医師が脳神経外科部長に着任されました。済生会熊本病院にて脳卒中治療のトレーニングを豊富に積まれた、熊本の脳卒中外科のリードオフマンです。Toughness と Passion を兼ね備えた牟田部長のもと、新しい脳神経外科がスタートしま

### 血栓回収療法



した。具体的には、症候性頸動脈狭窄に対する頸動脈内膜剥離術や内頸/中大脳動脈閉塞に対するバイパス術、三叉神経痛や顔面痙攣に対する微小血管減圧術など、手術の幅が広がりました。着任から3ヶ月で、すでに38例の手術を行っており、これは年間150例を上回るペースです。スタッフの方々や研修医の先生方にご協力頂きながら、部長と私の二人三脚で人吉・球磨地区、えびの・小林地区、伊佐・湧水地区の脳卒中診療の Quality を保つべく奮闘しています。

皆さま、新しい脳神経外科をどうぞよろしくお願い申し上げます！

脳神経外科 井上 博貴



左：牟田医師、右：井上医師

## 3月は自殺対策強化月間です。

自殺対策基本法では、3月を自殺対策強化月間と位置付けられ、国、地方公共団体、関係団体及び民間団体が連携して「いのち支える自殺対策」という理念を前面に打ち出して啓発活動を推進し、あわせて、啓発事業によって援助を求めるに至った悩みを抱えた人が必要な支援を受けられるよう、支援策を重点的に実施することとされています。

平成30年の全国の自殺者数は20598人（警察庁速報値）で、9年連続減少傾向が続いております。熊本県は九州の中で自殺死亡率が低い地域ですが、人吉球磨地域は、熊本県内でも自殺死亡率が高い地域で、近年大きな課題となっています。

今回、当院も参加している人吉球磨の自殺対策の推進体制について紹介します。

熊本県人吉保健所が中心となり、行政、警察、消防、医療機関、教育、一般企業、その他関係団体等が集まり、関係者と効果的な自殺予防対策を協議することや圏域における連携体制の強化を図ることを目的にH25年から「人吉球磨地域自殺対策連絡会」が実施されています。各分野の担当者が顔を合わせて、それぞれが抱える現状や課題を聞くことができ、新たな気づきがあり、自殺対策に活かすことができると考えます。また、自殺未遂等で救急病院を受診された後のフォロー体制や精神科病院や警



察などの関係機関との連携を協議する目的に平成28年度から「人吉球磨地域自殺対策検討会」が実施され、ここでは、事例を通しての意見交換し、具体的対応やその方法を協議しています。

当院でもERや病棟などで自殺企図の患者さんに対応することがあり、自殺の現状や悩みを抱えている方への気づき関わり方を理解することは大事だと考えています。当院も上記連絡会を通じて、一昨年に院内スタッフ向けにゲートキーパー研修会を開催しました。来年度は、再度ゲートキーパー研修の開催を計画していきたいと考えておりますので、その際は是非ご参加下さい。

医療福祉連携室 田頭 隼人

## 院内でも



## が広がっています！

乳がん術後の方が同浴者からの視線を気にすることなく共同浴場を利用できるツールのひとつとして「入浴着」があり、当院では、H29年より「入浴着の理解と認知度を広める」啓発活動に取り組み2年が経過しました。当初は、病院広報誌「翔」に「気兼ねなく温泉を楽しむことができました…」とつぶやいたことから始まりました。昨年は私が作成したポスターを熊本県温泉協会の協力を得て防水加工したポスターを新たに作製して頂き、人吉・球磨の温泉施設へ掲示していただいています。地域の方や他県より問い合わせがあり啓発活動の効果に手ごたえ

を感じています。

私のつぶやきが形にできたのは、地域・行政の方、ひとよし温泉女将のさくら会、熊本県温泉協会、人吉新聞社、そして私の思いを受け止めサポートしてくれる当院の社会福祉士 岡本さんのおかげです。

さらに院内でも活動の輪が広がり、外来スタッフで「入浴着の着用にご理解ください」のロゴとイラストを入れたT-シャツを作製しました。昨年当院で開かれたビーチボールバレー大会でT-シャツを着用し出場。私もT-シャツを着用し広島島の弥山を登頂しました。さらに人吉市イオン錦店内で行われた「町の保健室」で塚島副師長が啓発活動を行いました。今後は院内での啓発活動にとどまらず院外を飛び出し今年の干支のように猪突猛進していきます。



看護師 山下 ルミ

## 退職のご挨拶



初期研修医の頃からお世話になり、3年弱を人吉医療センターで学ばせていただきました。研修医時代は各科で勉強させていただき、今年度は総合診療科田浦先生の指導の下、病棟、ER、一般外来、五木村診療所、委員会活動、忘年会など幅広く活動することが出来ました。本来であれば3月末まで勤めるのが一般的ですが、急遽1月末で異動となつてしまい残念です。薬剤師も一人連れて行くため、薬剤

部には大変申し訳ないです。2月からは公立玉名中央病院の総合診療科で勤務となりますが、早くもホームシックな今日この頃です。

短い間でしたが、スタッフの皆様には大変お世話になりました。また人吉で皆様にお会いできる日を楽しみにしています。ありがとうございます。

総合診療科 平賀 円

## 連携施設探訪

当院は、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・福祉機関と連携して 地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設をご紹介します。

今回は「社会福祉法人 翠光園」さんです。

### 社会福祉法人「翠光園」 Vol.26

昭和35年、「老人ホーム」が世間に周知されていない時代に、身寄りのない方、障害のある方を救うため、永田喬氏、永田由美氏が私財を投じ創設した民間第1号の老人ホームです。

#### 【施設の特徴・理念】

創業理念：人間愛と人間の交わりの回復（白々と野をつらぬき走り、一筋の道を進まん、清々しい朝に人間の交わりの回復があればと心から願う）

基本理念：

1. 敬愛の理解の精神を持ち、個人の人格および生活背景を尊重します。
2. 地域社会との交流を行い、社会福祉の充実・発展に寄与します。
3. 職員の資質の向上を図り、より充実したサービスの提供に努めます。

#### 【サービスの内容】

養護老人ホーム	定員50名	通所介護事業	定員35名
特別養護老人ホーム	定員30名		
短期入所生活介護事業	定員12名		
居宅支援介護事業		在宅介護支援センター	
訪問入浴介護		訪問介護事業	
生計困難者に対する相談支援事業			

#### 【地域の皆様へ一言】

社会福祉法人翠光園は昭和35年設立。老人ホームでは、熊本県民間第1号の施設で58年目を迎えます。人間愛と人間の交わりの回復を理



念に真の福祉を目指してまいりました。これも地域の皆様の御支援の賜ものと感謝申し上げます。独自の伝統を守り研鑽を積み、皆様に愛される施設づくりを構築してまいります。

#### 【お問い合わせ】

TEL：0966-45-0274 FAX：0966-45-0106

居宅支援介護事業所まで

#### 【訪問者の感想】

正面玄関を入ってすぐの廊下には赤い絨毯が敷いてあり、まるで高級ホテルにいるかのような感覚になりました。施設内インテリアはどれも素敵で、細部にまで気が遣われていました。また、生花や造花が様々な場所に飾ってあり、来訪者や入居者の目を楽しませてくれる環境でした。

### 特別養護老人ホーム あさぎりホーム Vol.27

昭和35年、「老人ホーム」が世間に周知されていない時代に、身寄りのない方、障害のある方を救うため、永田喬氏、永田由美氏が私財を投じ創設した民間第1号の老人ホームです。

#### 【施設の特徴・理念】

信頼・尊重・向上

当施設は、県道48号線沿いに立地し、周囲を田園に囲まれ自然環境に恵まれた施設です。車の交通量も少なく大変静かな環境です。また敷地が7000㎡でゆったりとして、日当たりも十分です。施設全体で接遇・言葉使いに細心の注意を払いご利用者の尊厳を守るためのケアを行っております。

また、施設・通所・短期入所全てにおいて自立支援を基本に日常生活動作訓練を重視し、生活行為力の維持向上に力を入れております。様々なアクティビティ活動・レクリエーションを提供し認知症の予防など、行事イベントを行い楽しくメリハリのある生活を送って頂いております。

【対象者】要介護3から5の認定を受けた方

#### 【サービスの内容】

特別養護老人ホーム	従来型	定員30名、ユニット	定員20名
(予防)短期入所生活介護		定員6名	
(予防)通所介護	定員25名	居宅介護支援事業所	

#### 【地域の皆様へ一言】

地域貢献を年間の重点取り組み事項に掲げています。気軽に来園できる雰囲気作りを心がけています。どんな御用でもよいので親身に対



応します。ぜひ一度来てください。

#### 【お問い合わせ】

TEL：0966-45-5683 FAX：0966-45-6095

相談員 小林昌弘

#### 【訪問者の感想】

訪問した際、まず目を引くのは、施設入口の柵に飾ってあるかしらです。季節ごとに柵の飾りを変えられているようで、七夕時期には七夕飾り、秋にはかかし、冬には電飾をされているそうです。県道に隣接している施設で、その道を通られる方を楽しませたいと地域の高校や保育園などと共同で1回作成されているようです。訪問の際は、ぜひご覧ください。生花や造花が様々な場所に飾ってあり、来訪者や入居者の目を楽しませてくれる環境でした。

## 第16回 ひとよし温泉春風マラソン 救護ボランティア

2月17日(日)「第16回ひとよし温泉春風マラソン」が開催されました。

今回は、約60名と多くのスタッフが救護ボランティアとして参加しました。私は、今年からコアメンバーとして、初めて救護ボランティアに参加しました。

大会前には、救護に必要な知識と技術の基礎を身につけるために、一次救命処置(BLS)・内因性疾患・外傷性疾患についての研修会を実施しました。研修の中では、シミュレーション研修を行い、実際に屋外に出て、どのような感じなのかイメージをつけることもできました。また、前日の受付会場にて、ランナーに向けたBLS講習会も行われ、小さい子から年配の方まで多くの方が興味を持たれ、参加していただきました。

当日は、晴天に恵まれ、絶好のマラソン日和となりました。救護班を13班に分かれ、担当場所まで自転車で移動し、ランナーの異常に目を配りながらも、地域の方々と一緒に応援しました。最初は緊張していましたが、同じ班のスタッフにいろいろ聞きながら、楽しくボランティアに参加できました。また、今年も木村院長が救護ボランティアとして参加され、各救護所を自転車で巡回し、医師の視点から救護の助言を頂きました。

皆さんも機会があれば、是非、救護ボランティアに参加されてみませんか？

6階看護師 中川 裕美子



## 消防訓練を受けて

2月13日午後13時30分より、人吉医療センター消防訓練が行われました。今回は、夜間に7階病棟の談話室にて火災発生という想定の中の訓練でした。夜勤をするスタッフを中心に初期消火係や患者搬送係を決め、事務員は患者役となり、総勢50名を超えるスタッフが参加しました。

今回、私たちは患者役で階段避難車(イーバックチェア)を用いて避難しました。避難車は、車椅子のようになっており、座った状態で体が椅子から離れないように、腰と頭をベルトでしっかり固定されました。全く身動きの取れない状況で階段を降りないといけないため、とても不安でした。避難中は、スタッフの方が「大丈夫ですか?」と優しく声をかけてくださり、また、スタッフ同士の間でも息の合った連携プレーで、安心安全に階段を降りる

ことができ、抱えていた不安もあつと言う間に吹き飛ばされました。大変な状況の中でも患者さんを思いやる気持ちや声かけの大切を実感しました。

消防訓練を終えて、消防隊員の方から、実際火事が発生した際は落ち着いて状況の把握をすることが大事ということを教わりました。

今回は、夜勤帯での火災という想定でしたが、日中でたくさんの患者さんや、来院しているご家族、小さい子どもさんもいる状況での火災発生も考えられます。職員1人1人が、同じ知識を持ち、日頃から防災意識を高めることで、いざというときに迅速に対応でき、被害を最小限に抑えることができると思います。

医療福祉連携室クラーク 寺田 綾子・岡村 萌



## 1F コンビニリニューアル案内

いつもご利用いただきまして誠にありがとうございます。皆様の快適な院内生活のお役立ちが出来るよう心がけております。

### ①コーヒーマシンの導入

キーコーヒーさんと光洋のオリジナルブレンドコーヒーです。(価格は100円)

味わいとしては穏やかな苦みとアラビカ種ならではのクリーンですっきりした味わいがお楽しみいただけます。

その他カフェオレも生乳を使いますのでコクと香りを楽しんでいただけます。

### ②電子マネー機器の導入

AEON 等でおなじみの WAON カード、セブンイレブン等でおなじみの nanaco カードを筆頭に各種交通系、NTTDocomo の iD、au の EDY がご使用いただけるようになりました。(※ポイント付与はございますがチャージは不可です。)

### ③アイスクースの変更

2 段式のデュアルアイスクースの導入でマルチパック等売り場も見易く、取扱商品も12-15種類ほど増加しました。

以上が主な変更点です。

1F コンビニでは毎月のフェア、特売商品から医療雑貨までを品揃えしてお客様のご来店をお待ちしています。

ご意見、ご要望等ございましたら販売員までお申し付けください。



株式会社 光洋 ショップ・プラス 九州支店 運営課 廣瀬 徹也

## 300 円ランチのご紹介

院内レストラン ピアンモールでは毎月第 2 水曜日に 300 円ランチを実施されています。今月はハムカツカレーでした。



ご飯が多めに入っており、ハムカツもついてるので食べごたえ満点でした。カレーも程よい辛さでとても美味しかったです。3月の 300 円ランチも楽しみです！お持ち帰りもできますので、ぜひご利用ください。

## 「全病棟面会・お見舞い禁止のお知らせ」

当院では現在、感染予防・防犯の為、本館棟エレベーター前のドアを施錠し、面会を制限しておりますが、インフルエンザの流行により、より一層の感染予防・拡大防止のため、H30 年 12 月 31 日から面会・お見舞いを全病棟お断りしております。

急を要する場合などございましたときは、各病棟にお問い合わせ下さい。その場合には体調を確認、マスクの着用、手指衛生など十分に行っていただくなどの予防策をとらせていただきます。

また、今年から面会制限期間中の院内イベント（ぬりえ、アロマ講座等）を中止しております。大変ご迷惑をお掛けしますが、どうぞご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

## 新 任 紹 介



**中津 えみり (医事課・事務員)**  
最終卒業校：鹿児島県立野田女子高等学校  
趣味：音楽鑑賞  
好きな言葉：継続は力なり

自分の性格：1つのことに集中しすぎる  
自分のコマーシャル：一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。



**重富 綾美 (総務企画課・事務助手)**  
最終卒業校：熊本県立保育大学校  
趣味：着付け  
嬉しかったこと：最近のうれしかったことは、2月で1歳になる子どもが歩けるようになったことです。

自分の性格：マイペース  
自分のコマーシャル：おとし人吉に嫁いできましたが、まだまだ詳しくないのでおいしいお店やおすすめの温泉があったら教えてください。

## 2 月の勉強会報告

2月6日(水) Diabetes&Incretin Seminar in 人吉・球磨  
「GLP-1 受容体作動薬のトリセツ～Incretin-Based Therapy のススメ～」  
福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科 准教授  
野見山 崇先生

2月13日(水)熊本県医師会医学講座  
「緩和ケアと意思決定支援～アドバンス・ケア・プランニングのピットフォール～」  
熊本大学医学部附属病院がんセンター 緩和ケアセンター  
吉武 淳先生

2月25日(月)人吉球磨医師会学術講演会  
「広がるオピオイドの選択肢～ヒドロモルフォンをどう使うか～」  
さいたま県立がんセンター 緩和ケア科 部長  
余宮 きのみ先生

2月27日(水) 胃がん検診講習会  
「胃癌のX線・内視鏡診断」  
当院 予防医療センター 森田 秀祐先生

